

令和2年度（2020年度）

金沢大学大学院法務研究科

入学試験問題

商 法

D日程入試

（注意）

1. 問題冊子（表紙を含む）は2枚です。
2. 問題冊子は指示があるまで開かないで下さい。
3. 問題冊子と下書き用紙は持ち帰って下さい。
4. 解答は、鉛筆、シャープペンシル、ペン、ボールペンのいずれで記入しても構いません。
5. 解答にあたっては、どの問題から解答しても構いません。ただし、どの問題についての解答であるのかを答案中に明示してください。

## 令和2年度（2020年度）金沢大学大学院法務研究科入学試験問題

試験科目	商	法
------	---	---

以下の問題について解答しなさい。

### 問題1（15点）

次の事例を読み、〔問い〕に答えなさい。

取締役会設置会社である甲株式会社（以下、甲社という）は、同じく取締役会設置会社である乙株式会社（以下、乙社という）を現金対価の株式交換によって完全子会社化することを計画していた。

乙社株主（持株比率0.6%）であり乙社創業家の一族であったAは、この計画に反対していた。甲社および乙社の経営者は、Aの理解を得ようと何度も説明をしたが、Aが説得に応じることはなかった。甲乙両社経営陣は、Aの説得を諦めて株式交換契約の締結手続を進めることとした。

乙社は、あえてAへの乙社株主総会招集通知を送付せず、極秘に乙社株主総会を開催した。同総会で、甲社との株式交換は承認された。

〔問い〕

Aが、甲乙間の本件株式交換の無効を主張するために採りうる会社法上の手段とその見通しを述べよ。

### 問題2（10点）

会社合併に反対した株主が株式買取請求権を行使した場合、「公正な価格」（会社法785条、797条、806条）について、判例を踏まえて説明せよ。